

## 第5回鳥取県トラック輸送における取引環境・労働時間改善協議会 議事概要

平成28年10月26日(水)

13:30~15:30

鳥取労働局 4階 大会議室

出席者名簿：別紙のとおり

### I. 開会

開会の挨拶

《中国運輸局長 代理：自動車交通部長 小島》

○トラック協会の皆様には、今般の震災において救援物資輸送に迅速にご尽力いただきました、ありがとうございました。我が国の物流を支えるのみならず、いざという時、トラックの果たす役割の大きさを再認識した次第。

○農水省では現在、農水産品の流通の効率化を検討している事情もあり、本日「中国四国農政局食品企業課」から野澤指導官にオブザーバーとして出席いただいております、荷主である生産者と運送事業者がともにWIN-WINとなるよう今後、連携していきたいと考えています。

○中国運輸局管内で農水産物をパイロット事業の対象としているのは、鳥取県のみ。全国的に美味しい農水産物の多い本県で、より良い取組となるよう皆様のお力添えの元、事業を進めていきたい。

### II. 議題

#### 1. パイロット事業の取組状況について

※資料説明に当たり、10月21日に予定していたパイロット事業の対象集団との第2回検討会が、当日の地震発生によって、延期したため、本日は第1回検討会までの進捗状況について、説明致します。

会議資料により説明

(株式会社日通総合研究所：大島 Unit Leager) 一省略一

《県商工会議所連合会 山内委員》

○チェックリストについて、非常に詳細な項目が為されているが、より正確な情報とするためにも書面だけでなく、現場のドライバーへの聞き取りや意見の吸い上げも必要ではないか。

《日通総合研究所 大島Unit Leader》

- チェックリストは、対象となっている荷主に関する仕事の全体像をつかむための、きっかけ作りとするもの。
- 運転日報やチェックリスト等の書面だけでなく、各ドライバーさんの目線についても大切にしながら、次の検討会等を進めていくこととしている。

《交運労協 山崎委員》

- この乳製品会社を発荷主とした時の、九州とかいろいろな方面の着荷主側に対して、着荷主企業向けのチェックリストは配付されているのか。

《日通総合研究所 大島Unit Leader》

- 今回、そこまでは配付していない。着荷主側の協力を得るのは、確かに大切であるが、全国でも一連の中で着荷主側のパイロット事業への参加の協力が中々、得られない状況。
- 我々としても、着荷主先での待ち時間がある状況において、ドライバーの労働時間の関係で、そこに大きな問題があるかは関心のあるところですので、併せて日報等の調査など含めて色々と関係者に確認させていただいているところ。

《座長 梶見委員》

- 今回のパイロット事業の調査の注目点は、発荷主側におけるトラック荷役作業と、着荷主側における荷役作業の時間とを、県内に限定して調査しており、併せて、日報等で運送業者にとってのトータルの労働時間を補足的に調査しているということで理解すればいいのか確認させていただきたい。

《日通総合研究所 大島Unit Leader》

- 概ねそのとおり。今回の調査は、現場で従事しているドライバーの1日の労働時間を見て、製品を運び届けるまでに掛かっている所要時間（製品の引き取りや販売先に届けるまでの運転時間等）の中で、拘束時間が守られているかその内訳を見て、発荷主側における問題点がどこにあるかを把握させていただいている。
- 一般道ばかりを利用しているのであれば、改善メニューの提示として、高速道路の利用について提案をさせていただくこともある。
- 今回、調査の範疇とはなっていないが着荷主の方でも待ち時間がある、何か所荷下ろしがあるのか等実態を確認させていただき、どこに改善点があるのか全体像を捉えていく流れとしている。

《トミタ電機 神谷委員》

- パイロット事業において、提示される改善メニューの中に、荷主側及び運送事業者側に設備投資を要求するようなケースもあるのか。

《日通総合研究所 大島Unit Leader》

- 例えば、パレット卸しを手作業などで行っているため、輸送効率が悪い、パレットの紛失が生じている等、余計なコストが掛かっているケースなどであれば、その改善方法として、結果的には設備投資を提示する場合もあるかもしれない。
- 実証実験であるので1回の実証結果だけで捉えるのではなく、根本的な問題の中でどう改善し、コストアップが生じる際には、実態の中で吸収できる範囲で関係者と話し合いをしながら、提案を進めていくようにしたい。

《中小企業団体中央会 田栗委員》

- 先の地震発生からあまり期間が経っていない。震災により多くの施設が被害を受けているし、それ以上に精神的なダメージも大きいと思う。11月に調査をされることであるが、平常モードであればいいが、自宅が被災されている方もおられる。今後のスケジュールは、被災後の状況を見ながら進めていってほしい。

《座長 裕見委員》

- 改善策を提言され、それに取り込まれることにより、時間がどう短縮されたか等の効果の検証だけでなく、併せてやっていただきたいのが、ドライバーの精神的な負担の軽減である。これについても、検証していただきたい。

《日通総合研究所 大島Unit Leader》

- 今後の実施時期も含め、被災の状況等を十分考慮し、調査を進めていきたい。
- 過去には、全国的にも注目をされている中継輸送を実証的に導入した事案においては、ドライバーから労働時間が短縮され好評価を得ているものがある。こうした、ドライバーの目線なども十分考慮していきたいと考えている。

《八幡運輸 八幡委員》

- 本協議会の主たる目的は、陸送業の時短にあると考えている。この取組を進めて行くためには、国交省と厚労省との連携が重要。
- 今回のパイロット事業の検証結果と、鳥取県内の地域特性を踏まえて、より良い時

短に関する取組に繋げることが出来るよう期待している。

《座長 裕見委員》

○本パイロット事業は、労働時間の短縮に向けた改善を提案するとともに、かつ、鳥取県の地域特性を交えたノウハウを皆さんが共有して持てるような対策を提案していきましょうという取組である。最終的に、全国の検証内容が中央にて取りまとめられていくと思う。より一層、良い改善策を作っていきたいので皆様のご協力をお願いしたい。

2. トラック運転者の労働条件確保改善のための取組について

会議資料により説明（鳥取労働局） 一省略一

3. トラック運送業界のPR活動について

会議資料により説明（鳥取県トラック協会） 一省略一

《座長 裕見委員》

○トラック業界については、高齢化が進んでいるという話をよく聞く。今、トラックガールなどの新しい取組もされているところ。行政サイドからもその辺りの取組状況をお聞きしたい。

《鳥取運輸支局 村上委員》

○国交省では運輸業界の担い手不足の改善に向け、3年前から高校の訪問活動をさせていただいている。（昨年は13校、今年は12校）

○現在の高校生は、地元志望が強いとのこと。業種としては製造業や飲食・接客業が人気。バス・タクシーなどは、実際に求人がないということもあるが、2種免許取得要件の関係で、卒業してもすぐには免許が取れないため、現実的には就職先としてイメージされていない状況であるが、トラック・整備は求人もあり、就職実績もあるとのこと。

○情報提供やインターンシップなどの職場体験を上手く利用して、高校生だけでなくその親の世代も対象にした業界のイメージアップの取組を行う事が大切。

4. 運賃・料金について

会議資料により説明（鳥取運輸支局） 一省略一

《中小企業団体中央会 田栗委員》

○中央会では、インターンシップ事業を県から受託している。是非、活用いただきたい。

《鳥取中央農協 戸田委員》

- 農業団体として、ドライバーの労働時間、荷主勧告制度について理解が不足している。我々、農業団体は組合員本位の立場である以上、生産者側であり、今回のドライバーの労働時間や荷主勧告に関するパンフレットを配付いただいているが、これまで全く見たことがない。やはり多くの生産者が、労働時間（基準）を理解していないため、チラシを配付したり、実情を理解させる努力が必要である。
- 実運送が元請けではなく下請けが行うこととなった場合、荷主サイドから下請けに口がだせない。
- トラック運転手が不足し、物流が困難となれば、我々の業界も大変なことになるという状況は重々承知している。一緒になってやって改善に向けて取組んでいきたいと思っている。

《八幡運輸 八幡委員》

- 時短の関係で、時間外労働を行う際には、労働基準法の36協定を定めないといけないが、これはどう位置付けられているのか。
  - （事務局） 36協定は、事業場の中で、何時間まで残業を認めるかを、労使でしっかり話し合っただけで決めた上で協定したもの。時間外労働をさせても長時間労働とならないようにするために重要な手続きである。事業場の労使の方々には、改めてその重みを認識いただき、適切な労務管理を行ってほしい。

《座長 裕見委員》

- 農業生産は荷主＝生産者ではないと思う。野澤指導官に農業関係の物流に関する意見をいただきたい。

《オブザーバー：中国四国農政局 野澤指導官》

- 今後農水省として、どういう関わりをしていけば実証実験などがスムーズに行えるか。考えていく必要がある。農水省に対してのご意見等があればいただきたい。

《座長 裕見委員》

- 農業生産の物流で一番重要なことは鮮度（品質）の確保。これまで時間短縮に向け、様々な対策が個々に取られてきているところ。また、ドライバーの方々の長年の経験やノウハウ等の御意見等もいただきながら、今回のパイロット事業を通じて、時

短対策を抽出し報告書ができれば、若いドライバーの方々にも適用でき、人材確保につながるのではないか。

#### 5. その他

会議資料により説明（鳥取労働局） ー省略ー

《座長 杉見委員》

○本日のまとめとして、運賃料金が低い理由は品質の保証と信頼性を確保しており安全運転も含めた形で運賃料金に組み込まれていることを荷主に広く広報しなければならない。そのあたりがマッチングすれば、時短で賃金確保ができ、若い人材確保につながる。

### Ⅲ. 閉会

閉会の挨拶

《鳥取労働局 局長 内田委員》

○トラックがないと日本経済にとって大きなダメージとなる。経済活動がスムーズにいくためにも、協議会を通し、皆様と力を合わせてトラック運送を取り巻く環境改善に取り組みたいと思う。

第5回 鳥取県トラック輸送における取引環境・労働時間改善協議会  
出席者名簿

平成28年10月26日(水)

(順不同・敬称略)

	(団体名)	(団体における役職名)	(氏名)
委員	国立大学法人鳥取大学	副学長	裕見吉晴
委員	鳥取県商工会議所連合会	事務局長	山内啓介
委員	鳥取県中小企業団体中央会	専務理事	田栗正之
委員	トミタ電機株式会社	代表取締役社長	神谷哲郎
委員	鳥取中央農業協同組合	常務理事	戸田勲
委員	一般社団法人鳥取県トラック協会	会長	川上和人
委員	一般社団法人鳥取県トラック協会	専務理事	前田裕明
委員	株式会社八幡運輸	代表取締役会長	八幡太郎
委員	鳥取県交通運輸産業労働組合協議会	事務局長	山崎睦
委員	鳥取労働局	局長	内田敏之
委員	鳥取労働局	労働基準部長	河野勲人
委員	中国運輸局	局長	鵜沢哲也
	(代理出席)	自動車交通部長	小島博文
委員	中国運輸局 鳥取運輸支局	支局長	村上弘人

パイロット事業 受託者

株式会社日通総合研究所

Unit Leader

大島弘明

オブザーバー

中国四国農政局

食品産業環境指導官

野澤俊彦

(欠席者)

委員 株式会社明治製作所

取締役製造部長

谷口信幸

委員 株式会社山陰運送

代表取締役社長

竹内洋一郎

委員 中部貨物有限会社

代表取締役

河野俊一